



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (中学校・国語)

(中学校学習指導要領(H29告示)解説国語編を基に作成)

		1年	2年	3年
話し言葉と書き言葉	調査活動	p40 ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。 自分や他人の音声を録音して聞き直す。	p75 イ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。 プレゼンテーションで表示する書き言葉と読み原稿の話し言葉の特徴を入力し合い、共通点や相違点などについて分類してまとめる。	
		意見整理		
漢字	個に応じた学習	p41 イ (前略)…その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 漢字ドリルのアプリケーションソフトを活用し、漢字の読みや書き、筆順について学習する。	p76 ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	p104 ア 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。
		漢字ドリルのアプリケーションソフトを活用し、漢字の読みや書き、筆順について学習する。		
語彙	調査活動	p43 ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 辞書のアプリケーションソフトを活用し、様々な語句を取り上げて調べる。	p76 エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	p104 イ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けられることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
		辞書のアプリケーションソフトを活用し、様々な語句を取り上げて調べる。		
情報の整理	調査活動	p47 イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 インターネットを活用して必要な情報を引用し、出典を示す。	p81 イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。 プレゼンテーションソフトなどを活用して、様々な情報を図や絵、記号などをグループや階層に分けて整理する。	p108 イ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うこと。 インターネットを活用して必要な情報を引用し、出典を示す。
		インターネットを活用して必要な情報を引用し、出典を示す。	プレゼンテーションソフトなどを活用して、様々な情報を図や絵、記号などをグループや階層に分けて整理する。	インターネットを活用して必要な情報を引用し、出典を示す。
言語統制化	表現・制作	p49 ア 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。 自分の音読を録音や録画し、それを組み合わせて作品をつくり、視聴し合う。	p82 ア 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと。	p109 ア 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと。
		自分の音読を録音や録画し、それを組み合わせて作品をつくり、視聴し合う。		
言葉や変化の由来	調査活動	p50 ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。 インターネットを活用し、共通語と様々な地域の方言について調べる。		
		インターネットを活用し、共通語と様々な地域の方言について調べる。		
書写	調査活動	p51 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと…(後略) 自分の書いた作品を撮影し、手本と比較する。	p84 ウ 書写に関する次の事項を理解し使うこと…(後略)	p112 エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと…(後略)
		自分の書いた作品を撮影し、手本と比較する。		
読書	調査活動	p53 オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと。 気に入ったページを撮影し、表示しながら分かったことを説明する。	p85 エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。	p113 オ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解すること。
		気に入ったページを撮影し、表示しながら分かったことを説明する。		
A 話すこと・聞くこと	情報収集、内容の検討	p54 (1) ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 日常生活の中から話題を集め、プレゼンテーションソフトなどを活用して集めた材料を整理し伝え合う。	p86 (1) ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	p114 (1) ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。
		日常生活の中から話題を集め、プレゼンテーションソフトなどを活用して集めた材料を整理し伝え合う。		
B 表現・共有	表現・制作	p56 (1) ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 自分の考えが伝わるように、必要な資料をプレゼンテーションソフトなどでまとめる。	p88 (1) ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	p116 (1) ウ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。
		自分の考えが伝わるように、必要な資料をプレゼンテーションソフトなどでまとめる。		
構成の検討	思考を深める学習	p61 (1) イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。 入力した文章を読み直し、試行錯誤しながら筋道の通った文章となるように推敲する。	p92 (1) イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。	p121 (1) イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。
		入力した文章を読み直し、試行錯誤しながら筋道の通った文章となるように推敲する。		

B 書くこと	言語活用例	p65 (2) イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。 調査活動 表現・制作	p95 (2) イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。	p124 (2) イ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。
		インターネットを活用して文章や図表などを引用し、プレゼンテーションソフトなどを活用して、レポートやリーフレット、案内状や新聞などにまとめる。		
C 読むこと	構造的な把握、 精査・解釈	p68 (1) イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。 表現・制作	p99 (1) ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。	
		プレゼンテーションソフトを活用して、写真や文章、イラスト、音、アニメーションを用いて、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを表現する。		
C 読むこと	考えの共有形成	p71 (1) オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。 意見整理	p100 (1) オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	p128 (1) エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。
		本や新聞、インターネットに掲載された文章について考えたことを入力し、分類して整理する。		
障害のある生徒への配慮についての事項	p160 自分の立場以外の視点で考えたり他者の感情を理解したりするのが困難な場合には、生徒が身近に感じられる文章（例えば、同年代の主人公の物語など）を取り上げ、文章に表れている心情やその変化等が分かるよう、行動の描写や会話文に含まれている気持ちがよく伝わってくる語句等に気付かせたり、心情の変化を図や矢印などで視覚的に分かるように示してから言葉で表現させたりするなどの配慮をする。 個に応じた学習 電子書籍リーダーのようなアプリケーションソフトなどを活用して、生徒が文章を読みやすしたり、書き込みやすしたりする。			
	p160 比較的長い文章を書くなど、一定量の文字を書くことが困難な場合には、文字を書く負担を軽減するため、手書きだけではなくICT機器を使って文章を書くことができるようにするなどの配慮をする。 個に応じた学習 音声文字入力できるアプリケーションソフトを活用して長い文章を書きやすくする。			
	p160 声を出して発表することに困難がある場合や人前で話すことへの不安を抱えている場合には、紙やホワイトボードに書いたものを提示したりICT機器を活用したりして発表するなど、多様な表現方法が選択できるように工夫し、自分の考えを表すことに対する自信がもてるような配慮をする。 発表や話し合い 生徒が画面上に入力したものを大型提示装置で直接出力して発表させる。 意見整理 生徒が個人で入力した感想や意見を一覧で表示し、多くの考えに触れさせる。			



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (中学校・社会)

(中学校学習指導要領(H29告示)解説社会編を基に作成)

地理的分野	歴史的分野	公民的分野
<p>世界と日本の地域構成 地域構成 p38 イ(ア) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、主な国々の名称と位置、世界の地域構成、大陸と海洋の分布について調べる。</p>	<p>歴史との対話 身近な地域の歴史 p92 イ(ア) 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちがのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>調査活動 表現・制作</p> <p>インターネットを活用して、身近な地域の歴史について調べ、調べたことをプレゼンテーションソフトなどを利用して年表にまとめる。</p>	<p>私たちと現代社会 私たちが生きる現代社会と文化の特色 p135 イ(ア) 少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現すること。 p135 イ(イ) 文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、身の回りの少子高齢化、情報化、グローバル化、文化の継承と創造について調べる。</p>
<p>世界と日本の地域構成 地域構成 p38 イ(イ) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>調査活動 表現・制作</p> <p>インターネットを活用して、都道府県の名称と位置、都道府県庁所在地名について調べ、プレゼンテーションソフトなどを利用して調べたことをまとめる。</p> <p>調査活動 表現・制作</p> <p>世界や日本の地図を撮影し、その写真をプレゼンテーションソフトなどを利用してなぞることと略地図を描く。</p>	<p>近世までの日本とアジア 古代までの日本 p95 ア(ア) 世界の古代文明や宗教のおこりに基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解すること。</p> <p>意見整理</p> <p>世界の古代文明や宗教のおこりについて、諸文明の共通点や相違点について気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>私たちと現代社会 現代社会を捉える枠組み p138 イ(ア) 社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、さまじりの役割について多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>意見整理</p> <p>ある議題に対しての意見を入力し、学級全員の意見を集約したものを対立と合意、効率と公正の観点で分類してまとめる。</p>
<p>世界の様々な地域 世界各地の人々の生活と環境 p43 イ(ア) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>意見整理</p> <p>世界各地における人々の特色、衣食住の特色について考察し、通点や相違点について気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>近世までの日本とアジア 古代までの日本 p96 ア(イ) 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国が国が形成されていったことを理解すること。</p> <p>意見整理</p> <p>日本列島における農耕の広まりと生活の変化について、縄文時代と弥生時代を比較して考察し、共通点や相違点について気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p> <p>学校の壁を越えた学習</p> <p>遠隔授業を行い、博物館の学芸員と交流し、日本列島における農耕の広まりと生活の変化について理解する。</p>	<p>私たちと経済 市場の働きと経済 p142 イ(ア) 個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、市場の働きと経済や身近な消費生活について調べる。</p>
<p>世界の様々な地域 世界の諸地域 p46 イ(ア) 世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>意見整理</p> <p>各州の地域的課題について、自然、産業、生活・文化、歴史的背景などと関連付けて考察し、共通点や相違点を調べて気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>近世までの日本とアジア 古代までの日本 p98 ア(エ) 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解すること。</p> <p>発表や話し合い</p> <p>仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立など、古代の文化の特徴について資料を表示しながら、読み取ったことを発表する。</p>	<p>私たちと経済 市場の働きと経済 p142 イ(イ) 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>学校の壁を越えた学習</p> <p>遠隔授業を行い、金融機関や地元の企業などと交流を行い、現代の生産や金融の仕組み、企業の経済活動について理解する。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、職業の意義、雇用と労働条件の改善について調べたり、地元の企業などへ行き、インタビューの様子を動画で記録したりする。</p>

<p>日本の様々な地域 地域調査の手法 p52 イ(ア) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>調査活動 表現・制作</p> <p>地域の場所を撮影し、プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことをまとめる。</p>	<p>近世までの日本とアジア 中世の日本 p100 ア(ア) 鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解すること。 p101 ア(イ) 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解すること。</p> <p>意見整理</p> <p>鎌倉幕府の成立、元寇、南北朝の争乱と室町幕府について、武家政治の特色を考察し、共通点や相違点について気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p> <p>発表や話し合い</p> <p>日明貿易、琉球の国際的な役割について、資料を表示しながら、読み取ったことを発表する。</p>	<p>私たちと経済 国民の生活と政府の役割 p147 イ(ア) 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、公害の防止、環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、財政及び租税などについて身近な事例を調べる。</p>
<p>日本の様々な地域 日本の地域的特色と地域区分 p57 ア(ア) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること。</p> <p>学校の壁を越えた学習</p> <p>遠隔授業を行い、防災センター、震災伝承施設などとの交流を通して、自然災害や防災への取組などについて理解する。</p>	<p>近世までの日本とアジア 中世の日本 p102 ア(ウ) 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>プレゼンテーションソフトなどを活用して、農業など諸産業の発達、武士や民衆など多様な文化の形成など、民衆の成長が社会に与えた影響について考察した内容をまとめる。</p>	<p>私たちと政治 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 p151 ア(ア) 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解すること。</p> <p>発表や話し合い</p> <p>人間の尊重、法に基づく政治の意義について考察し、表示して発表する。</p>
<p>日本の様々な地域 日本の地域的特色と地域区分 p57 ア(イ) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口…（後略） p57 ア(ウ) 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること。</p> <p>意見整理</p> <p>少子高齢化、過疎・過密問題、環境やエネルギーに関する課題について考察し、共通点や相違点を調べて気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>近世までの日本とアジア 近世の日本 p104 ア(ア) ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解すること。</p> <p>調査活動</p> <p>ヨーロッパ人來航の背景と与えた影響が何であるか予想し、インターネットを活用して予想が合っているか調べる。</p> <p>意見整理</p> <p>織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係について考察し、共通点や相違点を調べて気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>私たちと政治 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 p151 ア(ウ) 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して基本的人権についての日常的な具体例を調べる。</p>
<p>日本の様々な地域 日本の地域的特色と地域区分 p57 ア(カ) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けること。</p> <p>調査活動 表現・制作</p> <p>日本の地域区分の方法について調べたものをプレゼンテーションソフトなどを活用してまとめる。</p>	<p>近世までの日本とアジア 近世の日本 p106 ア(イ) 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解すること。</p> <p>意見整理</p> <p>江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの対外政策などについて考察し、気付いたことを入力して分類し、まとめる。</p>	<p>私たちと政治 民主政治と政治参加 p154 ア(ア) 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用してニュースなどから我が国の民主政治の仕組み、政党の役割について調べる。</p>
<p>日本の様々な地域 日本の諸地域 p64 イ(ア) 日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>調査活動 意見整理</p> <p>日本の諸地域について、自然環境、人口、産業、交通や通信、その他の事象について考察し、共通点や相違点を調べて気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>近世までの日本とアジア 近世の日本 p108 ア(エ) 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりについて、身近な地域の事例について調べる。</p>	<p>私たちと政治 民主政治と政治参加 p154 ア(イ) 議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解すること。</p> <p>意見整理</p> <p>民主主義や多数決の原理について考察し、気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>
<p>日本の様々な地域 地域の在り方 p71 イ(ア) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p> <p>調査活動 意見整理</p> <p>地域の在り方、地域の実態や課題解決のための取組について考察し、共通点や相違点を調べて気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>近現代の日本と世界 近代の日本と世界 p112 ア(イ) 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解すること。</p> <p>意見整理</p> <p>明治政府の諸政策の目的、政治や文化や人々の生活に与えた影響について考察し、共通点や相違点を調べて気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>私たちと政治 民主政治と政治参加 p154 ア(ウ) 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解すること。</p> <p>調査活動 表現・制作</p> <p>インターネットを活用して、法に基づく公正な裁判の具体的な事例について調べ、プレゼンテーションソフトなどを活用して、裁判についてまとめる。</p>

	<p>近現代の日本と世界 近代の日本と世界 p113 ア(ウ) 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>プレゼンテーションソフトなどを活用して、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正について、世界との関係や現代の政治とのつながりについてまとめる。</p>	<p>私たちと政治 民主政治と政治参加 p154 ア(エ) 地方自治の基本的な考え方について理解すること。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解すること。</p> <p>調査活動 表現・制作</p> <p>インターネットを活用して、身近な地域の地方自治、地方公共団体の政治の仕組みについて調べ、プレゼンテーションソフトなどを活用してまとめる。</p> <p>意見整理</p> <p>民主政治の推進、公正な世論の形成、選挙、マスコミ、SNSと国民の政治参加との関連などについて考察し、気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	
	<p>近現代の日本と世界 近代の日本と世界 p116 ア(カ) 経済的世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の白頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>プレゼンテーションソフトなどを活用して、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動きについてまとめる。</p> <p>調査活動 学校の壁を越えた学習</p> <p>インターネットを活用して、戦時下の国民生活について身近な地域の事例を調べたり、遠隔授業を行い、戦争体験者や北方領土の旧島民の話を聞いたりする。</p>	<p>私たちと国際社会の諸課題 世界平和と人類の福祉の増大 p159 ア(ア) 世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解すること。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、世界平和の実現、人類の福祉の増大、国際協調について調べる。</p>	
	<p>近現代の日本と世界 現代の日本と世界 p119 ア(ア) 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、我が国の民主化と再建の過程について、身近な地域における戦後の混乱や生活の様子などを調べる。</p>	<p>私たちと国際社会の諸課題 世界平和と人類の福祉の増大 p159 ア(イ) 地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力が大切であることを理解すること。</p> <p>発表や話し合い</p> <p>地球環境、資源・エネルギー、貧困、戦争の防止、世界平和などについて考察し、資料を表示しながら発表する。</p>	
	<p>近現代の日本と世界 現代の日本と世界 p120 ア(イ) 高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解すること。</p> <p>発表や話し合い</p> <p>国際社会との関わりについて、民族や宗教をめぐる対立、地域統合、地球環境問題、資源・エネルギー問題、領土問題、日本人拉致問題、人権問題など様々な課題について考察し、資料を表示しながら発表する。</p>	<p>私たちと国際社会の諸課題 よりよい社会を目指して p163 ア(ア) 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述すること。</p> <p>意見整理</p> <p>持続可能な社会の形成について、課題を設けて考察し、気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	
<p>障害のある生徒への配慮についての事項</p>	<p>p174 地図等の資料から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが困難な場合には、読み取りやすくするために、地図等の情報を拡大したり、見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にするなどの配慮をする。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>画面上の地図等の資料を拡大したり、見る範囲を限定したりして、見やすくする。</p>		
	<p>p174 社会的事象等に興味・関心がない場合には、その社会的事象等の意味を理解しやすくするため、社会の動きと身近な生活が繋がっていることを実感できるよう、特別活動などとの関連付けなどを通して、実際の体験を取り入れ、学習の順序を分かりやすく説明し、安心して学習できるようにするなどの配慮をする。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>特別活動の写真や動画などの記録を見せることで関連付け、プレゼンテーションソフトなどを活用して整理された学習の順序を提示して確認しながら学習させる。</p>		
	<p>p174 学習過程における動機付けの場面において学習上の課題を見いだすことが難しい場合には、社会的事象等を読み取りやすくするために、写真などの資料や発問を工夫すること、また、方向付けの場面において、予想を立てることが困難な場合には、見通しがもてるようヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにすること、そして、情報収集や考察、まとめの場面において、どの観点で考えるのか難しい場合には、ヒントが記入されているワークシートを作成することなどの配慮をする。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>教師から個別にヒントを転送し、それを基に問題を解決させる。</p>		



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (中学校・数学)

(中学校学習指導要領(H29告示)解説数学編を基に作成)

	1年	2年	3年
A 数と式	<p>文字を用いた式 p69 (ア) 文字を用いることの必要性和意味を理解すること。</p> <p>発表や話し合い 意見整理</p> <p>マッチ棒の本数を求める問題などの解決の過程やその結果を図や式で表現し、表示して加筆しながら発表する。発表画面を保存し、共有して複数の発表内容を画面上で動かしながら解き方別に分類する。</p>		
B 図形	<p>平面図形 p74 (ア) 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解すること。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>作図の手順を示した模範映像の確認したい部分を再生し、作図を行う。</p>	<p>基本的な平面図形の性質 p109 (イ) 多角形の角についての性質が見いだせることを知ること。</p> <p>発表や話し合い 意見整理</p> <p>図形や平行線の性質などを使って角度を求める問題の解決の過程や、その結果を図や式で表現し、表示して加筆しながら発表する。発表画面を保存し、共有して複数の発表内容を画面上で動かしながら解き方別に分類する。</p>	<p>円周角と中心角の関係 p147 (ア) 円周角と中心角の関係を見いだすこと。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>シミュレーションソフトを活用して、同一円周上の点を動かしたときの円周角と中心角との関係について考える。</p>
	<p>平面図形 p77 (ウ) 基本的な作図や図形の移動を具体的な場面で活用すること。</p> <p>思考を深める学習 表現・制作</p> <p>プレゼンテーションソフトなどを活用して、合同な図形を複数作り、画面上で移動して敷き詰める文様を作成する。</p>	<p>図形の合同 p110 (イ) 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>シミュレーションソフトを活用して、図形にある条件を加えるとどのように形が変化するか動的に観察する。</p>	<p>三平方の定理 p149 (ア) 三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知ること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>シミュレーションソフトなどを活用して、三平方の定理について視覚的に理解する。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、三平方の定理についての様々な証明の方法を調べる。</p>
C 関数	<p>一次関数 p80 (ア) 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>シミュレーションソフトを用いて空間図形の切り口や展開図、回転体などについてイメージを持つ。</p>	<p>一次関数 p118 (ア) 一次関数として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>グラフ作成ソフトなどを活用して様々なグラフを作成することにより、変化の割合とグラフの傾きとの関係を考える。</p>	<p>関数$y=ax^2$ p153 (ア) 関数$y=ax^2$として捉えられる二つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現すること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>グラフ作成ソフトなどを活用して様々なグラフを作成することにより、aの値とグラフの開き具合との関係を考える。</p>
		<p>一次関数 p119 (イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>実験結果を座標で打ち込み、描画機能などを用いて直線を当て、一次関数とみなして考察したり予測したりする。</p>	<p>関数$y=ax^2$ p154 (イ) 関数$y=ax^2$を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>様々なグラフの性質を利用し、複数のグラフを組み合わせてグラフアートを制作する。</p>
D データの活用	<p>不確定な事象の起こりやすさ p93 (ア) 多数の観察や多数回の試行の結果を基にして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>表計算ソフトなどを活用して、クラスや学年の結果を入力し、相対度数や代表値を求めたり、ヒストグラムを作成したりしてそのデータの分布の傾向をまとめる。</p>	<p>データの分布 p120 (ア) 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>表計算ソフトなどを活用して、クラスや学年の結果を入力し、四分位範囲や箱ひげ図を作成する。そのデータの分布を比較してまとめる。</p>	<p>標本調査 p156 (イ) コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理すること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>表計算ソフトなどを活用して乱数を使って発生させ、その中から無作為に抽出した数のページに掲載されている見出しの単語の総数を調べる。</p>
ネット、情報通信などの活用手段	<p>p167 各領域の指導に当たっては、必要に応じ、そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用し、学習の効果を高めること。</p> <p>学校の壁を越えた学習</p> <p>電子メールや掲示板などを活用して、他の学校の生徒と数学の問題を出し合ったり、解き合ったりして相互に伝え合い、考えを共有する。</p>		
生徒障害のある者への配慮	<p>p165 文章を読み取り、数量の関係を文字式を用いて表すことが難しい場合、生徒が数量の関係をイメージできるように、生徒の経験に基づいた場面や興味のある題材を取り上げ、解決に必要な情報に注目できるよう印を付けさせたり、場面を図式化したりすることなどの工夫を行う。 空間図形のもつ性質を理解することが難しい場合、空間における直線や平面の位置関係をイメージできるように、立体模型で特徴のある部分を触らせるなどしながら、言葉でその特徴を説明したり、見取り図や投影図と見比べて位置関係を把握したりするなどの工夫を行う。</p> <p>思考を深める学習 個に応じた学習</p> <p>プレゼンテーションソフトなどを活用して制作した題材で興味・関心を持たせたり、シミュレーションソフトを活用して生徒に立体や図形を移動や回転させることで、数量の関係や空間図形の特徴をイメージさせる。</p>		



校種・教科別ICT活用事例一覧表(中学校・理科)

(中学校学習指導要領(H29告示)解説理科編を基に作成)

		1年	2年	3年
第1分野	エネルギー	<p>身近な物理現象 p29 イ 身近な物理現象について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現すること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>シミュレーションソフトを活用して様々な条件や場面を想定することで、光や音、力について理解する。</p>	<p>電流とその利用 p40 イ 電流、磁界に関する現象について、見直しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>表計算ソフトなど活用して、電流・電圧、抵抗などについての実験結果をグラフで表してまとめる。</p>	<p>運動とエネルギー p52 イ 運動とエネルギーについて、見直しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。</p> <p>表現・制作</p> <p>実験過程を写真や動画で記録したり、実験結果を表計算ソフトなどを活用してグラフで表したりして、デジタルノートやデジタルレポートとしてまとめる。</p> <p>調査活動</p> <p>物体の多様な運動を動画で撮影し、それを活用することで、運動の早さと向き、力と運動について理解する。</p>
	粒子	<p>身の回りの物質 p35 イ 身の回りの物質について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現すること。</p> <p>表現・制作</p> <p>実験過程を写真や動画で記録し、実験結果をプレゼンテーションソフトなど活用して、デジタルノートやデジタルレポートとしてまとめる。</p>	<p>化学変化と原子・分子 p46 イ 化学変化について、見直しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現すること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、原子・分子の詳細について調べたり、あらゆる化学変化について調べたりする。</p> <p>意見整理</p> <p>化学変化と熱、質量保存の法則について、実験前の予想や実験結果の考察を、表示して加筆しながら発表する。発表画面を保存し、共有して複数の発表内容を画面上で動かしながら種類別に分類する。</p>	<p>化学変化とイオン p58 イ 化学変化について、見直しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、イオンの詳細について調べたり、あらゆる化学変化について調べたりする。</p>
第2分野	生命	<p>いろいろな生物とその共通点 p74 イ 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現すること。</p> <p>調査活動 意見整理</p> <p>身の回りの生物を撮影する。その写真を見ながら共通点や相違点を調べて気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>生物の体のつくりと働き p86 イ 身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見直しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。</p> <p>調査活動</p> <p>植物や動物の体のつくりについて、アプリケーションソフトなどを活用して観察する。</p>	
	地球	<p>大地の成り立ちと変化 p80 イ 大地の成り立ちと変化について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現すること。</p> <p>学校の壁を越えた学習</p> <p>遠隔授業を行い、博物館の学芸員と交流し、火山活動、地震の伝わり方、地球内部の働きなどについて理解する。</p>	<p>気象とその変化 p92 イ 気象とその変化について、見直しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現すること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>シミュレーションソフトを活用して、気象観測、雲や霧の発生、前線の通過と天気の変化について調べる。</p>	<p>地球と宇宙 p104 イ 地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>シミュレーションソフトを活用して、日周運動と自転、年周運動と公転、月や金星の運動と見え方などについて理解を深める。</p>
	つ徒障いへの害の記ある事慮る項に生	<p>p120 実験を行う活動において、実験の手順や方法を理解することが困難である場合は、見直しもてるよう実験の操作手順を具体的に明示したり、扱いやすい実験器具を用いたりするなどの配慮をする。また、燃焼実験のように危険を伴う学習活動においては、教師が確実に様子を把握できる場所で活動させるなどの配慮をする。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>プレゼンテーションソフトなどを活用して、実験の目的や手順、方法等を、写真や動画を用いて制作し、生徒に視聴させることで学習の見直しをもつ。</p>		



校種・教科別ICT活用事例一覧表（中学校・音楽）

（中学校学習指導要領（H29告示）解説音楽編を基に作成）

		1年	2年	3年
A 表現		<p>p45 イ（イ） 楽器の音色や響きと奏法との関わり</p> <p>思考を深める学習</p> <p>演奏できるアプリケーションソフトなどを活用し、その楽器の音でしか表せない表現を疑似体験する。</p>	<p>p75 イ（イ） 楽器の音色や響きと奏法との関わり</p>	
		<p>p47 ウ（イ） 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能</p> <p>個に応じた学習</p> <p>自分の歌声を録画して振り返ったり、範唱の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p> <p>他人や他グループの録画した歌声を再生しながら歌の練習を行う。</p>	<p>p76 ウ（イ） 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能</p>	
		<p>p49 ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。</p> <p>意見整理</p> <p>音や音楽から喚起された新たなイメージや感情などを入力し、分類して整理する。</p>	<p>p76 ウ（イ） 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能</p>	
		<p>p53 ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。</p> <p>思考を深める学習 表現・制作 発表や話し合い</p> <p>演奏できるアプリケーションソフトなどを活用し、課題や条件に沿った音を選択し、組合せて旋律や音楽をつくり発表する。発表後に感想を入力してもらい、自分の作品を振り返る。</p>	<p>p82 ウ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。</p>	
B 鑑賞		<p>p60 ア（ウ） 音楽表現の共通性や固有性</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットなどを活用して、複数の音楽を聴いたりオペラやミュージカルを聴いたりして、それぞれの表現上の特徴に気づき、共通性や固有性を考える。</p>	<p>p87 ア（ウ） 音楽表現の共通性や固有性</p>	
		<p>p62 イ（ウ） 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性</p> <p>調査活動 意見整理</p> <p>我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽を聴いてそれぞれの特徴を比較し、共通点や相違点、あるいはその音楽だけに見られる固有性などを調べて気付いたことを入力し、分類してまとめる。</p>	<p>p89 イ（ウ） 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性</p>	
指導上の取扱いと配慮事項		<p>p102 エ 生徒が様々な感覚を関連付けて音楽への理解を深めたり、主体的に学習に取り組んだりすることができるようにするため、コンピュータや教育機器を効果的に活用できるよう指導を工夫すること。</p> <p>思考を深める学習</p> <p>演奏できるアプリケーションソフトなどを活用し、音量の変化に応じて図形の大きさや振動の強さが変わったり、楽器の音色の変化によって色が変わったりするなどのように、聴覚と視覚、聴覚と触覚など、複数の感覚を関連付けて音楽を捉える。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>創作の学習において、演奏できるアプリケーションソフトなどを活用し、演奏や記譜に関する部分を作成する。</p> <p>学校の壁を越えた学習</p> <p>遠隔授業を行い、他国や他校の生徒と同時に一つの歌を共に歌ったり、自分の地域の音楽を紹介し合ったりしながら、音楽表現の共通性や固有性を理解する。</p>		
障害のある生徒への配慮に		<p>p96 音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成など）を知覚することが難しい場合は、要素に着目しやすくできるよう、音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりするなどして、要素の表れ方を視覚化、動作化するなどの配慮をする。なお、動作化する際は、決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>シミュレーションソフトを活用し、リズム、速度、旋律、強弱、反復等の要素を視覚化し、着目できるようにする。</p>		
		<p>p96 音楽を聴くことによって自分の内面に生まれる様々なイメージや感情を言語化することが難しい場合は、表現したい言葉を思い出すきっかけとなるよう、イメージや感情を表す形容詞などのキーワードを示し、選択できるようにするなどの配慮をする。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>プレゼンテーションソフトなどを活用して、キーワードを選択しやすくする。</p>		



校種・教科別ICT活用事例一覧表（中学校・美術）

		(中学校学習指導要領(H29告示)解説美術編を基に作成)		
		1年	2年	3年
A 表現	p57 ア(ア) 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。		p87 ア(ア) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">思考を深める学習</div>	作品を制作するにあたり、プレゼンテーションソフトなどを活用して色やデザインの組み合わせをシミュレーションする。		
B 鑑賞	p71 ア(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。		p102 ア(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">意見整理</div>	自分たちの作品や美術作品について、感じたことや思ったことを入力し合う。それが一覧で表示されることで多くの考えに触れ、共通点や相違点などについて分類してまとめる。		
	p72 ア(イ) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。		p103 ア(イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">表現・制作</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">発表や話し合い</div>	作品を鑑賞し、プレゼンテーションソフトなどを活用して、作者の心情や表現の意図などについて考えたことをまとめ、発表する。		
p74 イ(イ) 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。		p107 イ(イ) 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">表現・制作</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">発表や話し合い</div>	プレゼンテーションソフトなどを活用して、身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産についてまとめ、美術文化について考える。			
内容の取扱いと指導上の配慮事項	p131 イ 美術の表現の可能性を広げるために、写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアの積極的な活用を図るようにすること。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">意見整理</div>	複数の写真を撮影したものを比較し、主題をよりよく表現している写真を考える。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">表現・制作</div>	撮影した何枚かの写真を組み合わせた組み写真を、物語性をもたせて制作する。		
		動画を撮影して、学校紹介やコマーシャルを作成したり、絵をコマ撮りして、短編アニメーションを作成したりする。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">調査活動</div>	インターネットを活用して、国内外の作品や作者について調べたり、美術館、博物館等のWeb ページを閲覧したりする。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学校の壁を越えた学習</div>	遠隔授業を行い、学校外の美術の専門家から学んだり、他校の生徒たちや地域の人々と交流し、異なる考えやそれぞれの国や地域の美術文化にリアルタイムに触れたりする。		
慮生障のに徒害事つへの項いのあて配る	p122 造形的な特徴などからイメージを捉えることが難しい場合などにおいて、形や色などに対する気付きや豊かなイメージにつながるように、自分や他の人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどが考えられる。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">個に応じた学習</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">意見整理</div>	生徒自身の作品や美術作品について、感じたことや思ったことを入力させ、共通点や相違点などについて分類してまとめやすくする。		



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (中学校・保健体育)

(中学校学習指導要領(H29告示)解説保健体育編を基に作成)

	1年	2年	3年
B 器械運動	<p>p71 技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>調査活動 表現・制作 発表や話し合い</p> <p>つまづいていた技のこつやわかったことを、プレゼンテーションソフトなどを活用して文字や図、練習している様子を撮影したものをういてまとめて発表し合い、気付いた点を話し合う。</p>	<p>p81 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>p82 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を講練ようとする、互いに助け合い教え合おうとする、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>
	<p>p72 器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>自分の運動を録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>	<p>p82 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を講練ようとする、互いに助け合い教え合おうとする、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>自分の運動を録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>
C 陸上競技	<p>p89 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>調査活動 表現・制作 発表や話し合い</p> <p>記録へ挑戦するために考えたことを、プレゼンテーションソフトなどを活用して文字や図、練習している様子を撮影したものをういてまとめて発表し合い、気付いた点を話し合う。</p>	<p>p96 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>p98 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>
	<p>p90 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>自分の運動を録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>	<p>p98 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>自分の運動を録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>
D 水泳	<p>p106 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>調査活動 表現・制作 発表や話し合い</p> <p>記録へ挑戦するために考えたことを、プレゼンテーションソフトなどを活用して文字や図、練習している様子を撮影したものをういてまとめて発表し合い、気付いた点を話し合う。</p>	<p>p114 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>p115 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>
	<p>p107 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>自分の泳ぎを録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>	<p>p115 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>自分の泳ぎを録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>
E 球技	<p>p126 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>調査活動 表現・制作 発表や話し合い</p> <p>自己や仲間の考えたことを、プレゼンテーションソフトなどを活用して文字や図、練習している様子を撮影したものをういてまとめて発表し合い、気付いた点を話し合う。</p>	<p>p134 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>p136 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違이에応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>
	<p>p128 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違이에応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ること。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>自分の動き方を録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>	<p>p136 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違이에応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>自分の動き方を録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>
F 武道	<p>p151 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>調査活動 表現・制作 発表や話し合い</p> <p>自己や仲間の考えたことを、プレゼンテーションソフトなどを活用して文字や図、練習している様子を撮影したものをういてまとめて発表し合い、気付いた点を話し合う。</p>	<p>p161 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>p162 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>
	<p>p152 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、禁止技を用いないなど健康・安全に気を配ること。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>自分の技を録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>	<p>p162 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違이에応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>自分の技を録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>
G ダンス	<p>p174 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>調査活動 表現・制作 発表や話し合い</p> <p>自己や仲間の考えたことを、プレゼンテーションソフトなどを活用して文字や図、練習している様子を撮影したものをういてまとめて発表し合い、気付いた点を話し合う。</p>	<p>p182 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p>	<p>p184 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違이에応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>
	<p>p175 ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようとする、一人一人の違이에応じた表現や役割を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ること。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>自分の踊りを録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>	<p>p184 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違이에応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>自分の踊りを録画して振り返ったり、模範の動画と比較したりすることで客観的に自分の課題を見付ける。</p>

H 体育理論			健康と環境 p226 イ 健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。 意見整理 健康と環境に関わる原則や概念を基に、自他の課題を発見して入力し、分類して整理する。
	p227 (11) 保健分野の指導に際しては、自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。 思考を深める学習 アプリケーションソフトなどを活用し、体のつくりを視覚的にとらえ、心肺蘇生法などの保健体育科の実習、実験、課題学習などを行う。		
障害のある生徒への配慮についての事項	p234 リズムやタイミングに合わせて動くことや複雑な動きをすること、ボールや用具の操作等が難しい場合には、動きを理解したり、自ら積極的に動いたりすることができるよう、動きを視覚的又は言語情報に変更したり簡素化したりして提示する、動かす体の部位を意識させる、操作が易しい用具の使用や用具の大きさを工夫したりするなどの配慮をする。 個に応じた学習 動き方についての模範映像を生徒に視聴させ、スロー再生などをすることで視覚的に理解させる。		
	p234 日常生活とは異なる環境での活動が難しい場合には、不安を解消できるよう、学習の順序や具体的な内容を段階的に説明するなどの配慮をする。 個に応じた学習 教師がプレゼンテーションソフトなどを活用して、学習の順序や具体的な内容を段階的に生徒に説明する。		
	p235 自分の力をコントロールすることが難しい場合には、状況に応じて力のコントロールができるよう、力の出し方を視覚化したり、力の入れ方を数値化したりするなどの配慮をする。勝ち負けや記録にこだわり過ぎて、感情をコントロールすることが難しい場合には、状況に応じて感情がコントロールできるよう、事前に活動の見通しを立てたり、勝ったときや負けたとき等の感情の表し方について確認したりするなどの配慮をする。グループでの準備や役割分担が難しい場合には、準備の必要性やチームで果たす役割の意味について理解することができるよう、準備や役割分担の視覚的な明示や生徒の実情に応じて取り組むことができる役割から段階的に取り組ませるなどの配慮をする。保健の学習で、実習などの学習活動に参加することが難しい場合には、実習の手順や方法が理解できるよう、それらを視覚的に示したり、一つ一つの技能を個別に指導したりするなどの配慮をする。 個に応じた学習 生徒にカメラアプリやプレゼンテーションソフトを活用させて、活動の見通しを立てさせたり、視覚的に理解させたりする。		



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (中学校・技術)

(中学校学習指導要領(H29告示)解説技術・家庭編を基に作成)

		1年	2年	3年
A 材料と加工の技術	p27 (1) ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。	<p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、高層建築物や構造物に用いられる日本の伝統的な材料と加工の技術の仕組みについて調べる。</p>		
	p29 (2) ア 製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができること。	<p>表現・制作 思考を深める学習</p> <p>アプリケーションソフト(CAD)を活用して製図をしたり、立体物を表示して細部を確認したりする。</p>		
	p29 (2) イ 問題を見だして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。	<p>意見整理</p> <p>製品の設計や、既存の製品の強度の向上について感じたことや思ったことを入力し合い、改善点などを分類してまとめる。</p> <p>個に応じた学習</p> <p>のこぎりびきの姿勢などを撮影し、改善点を話し合う。</p>		
B 生物育成の技術	p34 (1) イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。	<p>意見整理</p> <p>有機質肥料と化成肥料の働きや効果を入力し合い、共通点や相違点などについて分類してまとめる。</p> <p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、野菜や肉、魚などの生産過程で用いられる育成環境の調節方法を調べる。</p>		
	p35 (2) イ 問題を見だして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。	<p>学校の壁を越えた学習</p> <p>遠隔授業を行い、試験研究機関や民間機関、農業科や水産科を設置する高等学校等と交流して学習する。</p>		
	p44 (2) イ 問題を見だして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。	<p>思考を深める学習</p> <p>シミュレーションソフトを活用し、電気回路や力学的機構について試行錯誤する。</p>		
C エネルギー変換の技術	p46 (3) イ 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。	<p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して新しいエネルギーの変換の技術の優れた点や問題点を調べる。</p> <p>意見整理</p> <p>電気機器について、利用者と開発者の両方の立場から技術の将来展望を考えて入力し合い、共通点や相違点などについて分類してまとめる。</p>		
	p51 (1) イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。	<p>調査活動</p> <p>インターネットを活用して、生活や産業に用いられている情報の処理や提供を行うサービス、電気製品やそれらを組み合わせたシステムに用いられている情報の技術の仕組み、開発の経緯や意図などを調べる。</p> <p>意見整理</p> <p>気象情報サイトやコンビニエンスストア、デジタル家庭電化製品などの開発の経緯や意図、機能や特徴などを入力し合い、共通点や相違点などについて分類してまとめる。</p>		
D 情報の技術	p126 新たなプログラムを設計することが難しい場合は、生徒が考えやすいように、教師があらかじめ用意した幾つかの見本となるプログラムをデータとして準備し、一部を自分なりに改良できるようにするなど、難易度の調整や段階的な指導に配慮する。	<p>個に応じた学習 意見整理</p> <p>教師がプログラミングソフトを活用して、生徒の実態に応じたプログラムを準備する。</p>		
慮生障のに徒者事つへのあて配る				



校種・教科別ICT活用事例一覧表（中学校・家庭）

(中学校学習指導要領(H29告示)解説技術・家庭編を基に作成)

		1年	2年	3年
A 家庭生活・ 家族	p77 ア(イ) 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解すること。	調査活動	高齢者など地域の人々にインタビューした動画を振り返り、自分が地域の人々とともにできることについて考える。	
	p85 ア(イ) 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康により食習慣について理解すること。	調査活動	インターネットを活用して、身長や体重などの身体的発達の変化と食事摂取基準などから、中学生に必要な栄養の特徴について調べる。	
	p85 イ 健康により食習慣について考え、工夫すること。	調査活動 意見整理	インターネットを活用して、健康のためのよりよい食習慣について調べたり、各自の生活経験について入力し合い、見直す必要がある点などに分類してまとめたりする。	
	p86 ア(ア) 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解すること。	表現・制作 発表や話し合い	デジタル教材やプレゼンテーションソフトなどを活用し、栄養素についてまとめ、発表する。	
B 衣食住の生活	p87 ア(イ) 中学生の1日に必要な食品の種類と量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解すること。	思考を深める学習	アプリケーションソフトなどを活用し、食品を入れ替えることによって変化する栄養素の量をシミュレーションしながら、献立を考える。	
		調査活動 家庭学習	家庭での食事を撮影し、その写真を活用して栄養のバランスについて考える。	
	p93 イ 日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること。	個に応じた学習	調理実習で、手順を示した模範映像の確認したい部分を再生し、調理を行う。	
		調査活動 表現・制作 発表や話し合い	調理実習で工夫して調理したことをプレゼンテーションソフトなどを活用して、文字や図、撮影した調理の様子などを用いてまとめ、発表し合う。	
	p96 ア(ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。	思考を深める学習	アプリケーションソフトなどを活用し、衣服の上衣と下衣の組み合わせや、形、色などを変えることで、印象の違いについて学習する。	
	p97 ア(イ) 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。	個に応じた学習	ボタン付けの手順を示した模範映像の確認したい部分を再生し、裁縫を行う。	
		調査活動	インターネットを活用して、どのような資源が衣服の原料としてリサイクルされているのかを調べたり、回収された資源が新しい衣服に生まれ変わるまでの一連の流れを調べたりする。	
		調査活動 家庭学習 表現・制作	家庭での清掃を撮影し、洗濯機の水 flow の強弱による汚れの落ち方や布の収縮について、プレゼンテーションソフトなどを活用して、文字や図表、グラフにまとめる。	
	p105 イ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。	調査活動 家庭学習 表現・制作	家の室内の写真などから危険な箇所を見つけて、プレゼンテーションソフトなどを活用して、必要な備えをまとめたり、災害時の行動マニュアルを制作する。	
	C 生活環境・消費	p110 ア(ア) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。	意見整理	支払い方法の特徴について入力し合い、クレジットカードによる三者間契約と二者間契約の利点と問題点などについて分類してまとめる。
p126 調理や製作等の実習を行う際、学習活動の見通しをもったり、安全に用具等を使用したりすることが難しい場合には、個に応じて段階的に手順を写真やイラストで提示することや、安全への配慮を徹底するために、実習中の約束事を決め、随時生徒が視覚的に確認できるようにする。		個に応じた学習	プレゼンテーションソフトを用いて、手順や実習中に約束事などを視覚的に確認させる。	



校種・教科別ICT活用事例一覧表（中学校・外国語）

(中学校学習指導要領(H29告示)解説外国語編を基に作成)			
	1年	2年	3年
聞くこと	p55 (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個に応じた学習</div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">録音されている話の聞き取れなかった部分を確認し、再生して聞き取り直す。</div>		
「やり取り」	p61 (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に回答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学校の壁を越えた学習</div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">遠隔授業を行い、他学級の友達や教師と会話のやり取りを行う。</div>		
「話すこと」	p63 (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現・制作</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発表や話し合い</div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">話す内容をプレゼンテーションソフトなどを活用してイラストや写真などを用いてまとめ、発表する。</div>		
書くこと	p67 (イ) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現・制作</div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">電子メールなどを活用して自分の考えや気持ちが伝わるように返事を入力する。</div>		
	p68 (エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現・制作</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見整理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発表や話し合い</div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">プレゼンテーションソフトやアプリケーションソフトなどを活用して、マッピングなどを行って思考や情報の整理を行い、ペアやグループで説明したり質問したりした後、マッピングに加筆し、情報を整理して社会的な話題に関する自分の考えを書く。</div>			
作成指導と内容の取扱い	p96 キ 生徒が身に付けるべき資質・能力や生徒の実態、教材の内容などに応じて、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、生徒の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図るようにすること。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学校の壁を越えた学習</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">調査活動</div> <div style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">遠隔授業を行い、外国人と会話をしたり、インターネットを活用して外国の文化を調べたりして、日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、多様な考え方があることに気付く。</div>		